

1988 (昭和63年)

会員数61名



37代理事長

大本宗司

この年大本理事長は「高度快適化社会の実現」を目指し青年経済人としての立場から地域社会の新たな発展に貢献していく「まちづくり」を推進していくため、「地域活性化委員会」を設置した。住みよい町づくりのため、それぞれに活動されている1市5町の青年層の方々との意見交換会を通じ、それぞれの町が抱える問題点・また共通の問題点・将来の展望等長時間に亘り熱心なやりとりがなされた。この交換会の後、各団体ごとに、かねてから計画されていたイベント・新たに企画された行事等が実施され、八幡浜青年会議所は、2月以降突然事業計画として持ち上がった「みなと夏まつり」の運営をし、LOMの委員会事業と同時進行で市民とまさに一体となったまちおこしに取り組んだ。



卒業式並懇親忘年会  
商工会議所大ホール

また、この交換会の締め括りとして、来年へのワンステップとして、10月30日青少年開発委員会と合同で「八西地区青年交流会」が開催され、実際の事業活動を経て、どのような感想を持ったか、またどのような反省点を持ったかを一同に会して話し合える機会をもつことができた。

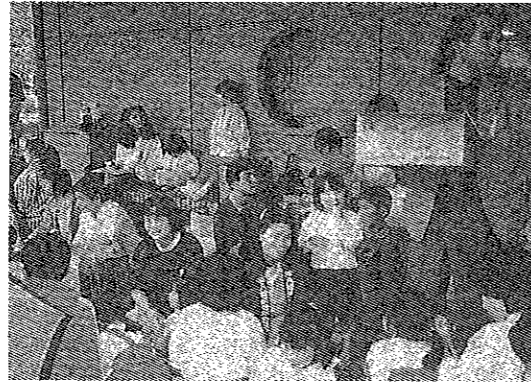
指導力開発委員会では、例会において「LDスーパータイム」と題して4回の委員会アワーを開催し、1/3を越える入会3年未満の会員の勉強のため、また在籍年数の長い会員の復習のためバズセッションやプレーストリーミングの勉強会を行なった。また、前年度メンバー対象に開催した日本創造教育研究所の交流分析セミナーを、愛媛ブロック役員並びにLOM役員研修会としてブロック内メンバー対象に開催した。



愛媛ブロック協議会LOM役員研修会

3月14日、稲見ブロック会長の近隣のLOMが、互いに協力し合い、ひとつの地域としてのローカルネットワークを確立し、高度な連携プレーができる体制を目指した基本方針のもと、初めての試みである大洲JCとの合同公式訪問例会が八幡浜市営農センターにおいて開催された。

5月22日開催された砥部動物園での家族会は、あいにくの小雨であったが、子供たちには全く関係なく楽しい一日を過ごした。



家族会  
松山砥部動物園

また、6月には内子「母家」において、会員研修会が開催されOBの貴重な体験談・激励・コミュニケーションが繰り返された。

経営開発委員会では、野村証券の協力を得て、8月25日の経営セミナー（ファミコントレード）の開催、11月26・27のMGゲームの実施などの事業を展開していった。

12月3日、6名の卒業生を送り、1988年度を締め括った。



第1回てやてやフェスティバル踊り競演大会



児童組コンサート出島特設会場にて

1989 (平成元年)

会員数64名



38代理事長

門田完司

「漕ぎ出せ新しい時代へ」

昭和から平成へ新しい時代の幕開けに門田完司理事長以下新入会員9名を含め総勢64名のメンバーが「未来への人づくり、未来への地域づくり、未来へのJCづくり」を目標に出発した。本年は諸範の事情により1月4日に「新年合同名刺交換会」がスポーツセンターサブアリーナで来賓148名メンバー56名の出席で行われた。

3月25、26日には玖球町「21世紀をつくる会」との交流会がお互いのメンバー55名が参加し、懇談会、ビデオを見ながらの町の紹介や団体の目標、活動内容を話し合いながらごやかな内に親睦が計られ、又八西地区の諏訪崎、伊方ビクターズハウスなどの見学も行われた。



卒業式並懇親忘年会  
ニューハーフ大会

「21世紀豊かな愛媛をめざしてJCは今」と題して5月14日に「愛媛ブロック会員大会」が南予文化会館で行なわれ、会員100%を目指してと高瀬ブロック会長より異常とも思える情熱で会員大会100%出席を目指したが残念ながら当LOMは達成できなかった。しかし長嶋茂雄氏の記念講演はたいへん楽しい講演となり又大会式典は宇和島JCメンバーのパワーに圧倒された。

「ウィーン少年少女合唱団公演」が7月30日に市民会館で行なわれ、目の色、肌の色の違う子供達が歌声を合わすことにより文化、地域を越えた連帯感を持ち意志疎通が計られこの公演、交歓会がこの町の豊かなまちづくりの手助けとなった。

夏まつりは地域事業室が市民が誰でも参加できる祭りを目指して8月12日に第2回みなと夏まつりてやてやフェスティバルを年頭初より準備を進め、ミニ遊園地でてやてやランドで2千名の子供達が遊び夕方6時より27団体2027名の踊り競演大会が盛大に行われた。又10月18日第41回「八幡浜みなと祭」にはJCメンバー35名が顔にはメーカーキャップをしゆかたに編笠をかぶりみごと南海放送賞を受賞しユニークで目立った存在だった。

1989年、年度末定時総会が12月9日会議所大ホールで行なわれ門田理事長から次年度理事長に中井博司君を決定しこの新しい流れは好調な日本経済の流れに何とか乗ろうと

しているこの地域の今後における方向を新しく考え、行動するために大きな試金石となるであろうと最後の挨拶をし又懇親忘年会ではJCメンバーがニューハーフ大会で場を盛り上げて公式スケジュールを無事終了した。



（社）東京JC40周年記念式典参加



女装して参加したみなと祭り踊り競演大会



恐怖の出石寺徒歩行LD道場パーティ



恐怖の黒島LD道場パーティ2